



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社コーセー

上場取引所 東

コード番号 4922 URL http://www.kose.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	115,407	22.8	18,045	156.1	18,691	130.6	10,951	164.5
27年3月期第2四半期	93,943	5.5	7,046	4.6	8,104	△2.1	4,140	△6.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 12,040百万円 (239.3%) 27年3月期第2四半期 3,548百万円 (△41.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	191.98	—
27年3月期第2四半期	72.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	212,856	159,529	70.0	2,610.45
27年3月期	205,006	149,637	68.3	2,455.34

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 148,911百万円 27年3月期 140,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	27.00	—	37.00	64.00
28年3月期	—	37.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	13.1	33,000	45.7	33,600	33.8	19,200	59.2	336.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信（添付資料）5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	60,592,541株	27年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,547,865株	27年3月期	3,547,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	57,044,851株	27年3月期2Q	57,045,604株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

事業区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	66,394	70.7	83,626	72.5	17,232	26.0
コスメタリー	26,670	28.4	30,694	26.6	4,023	15.1
その他	878	0.9	1,086	0.9	207	23.7
売上高計	93,943	100.0	115,407	100.0	21,463	22.8

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	7,046	7.5	18,045	15.6	10,998	156.1
経常利益	8,104	8.6	18,691	16.2	10,586	130.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,140	4.4	10,951	9.5	6,811	164.5

① 概況

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)における日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復の動きが続いたものの、新興国経済の減速の影響により輸出や生産面で伸び悩みなど、一部に弱さも見られました。化粧品業界におきましては、平成27年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、4月以降の累計では販売個数・販売金額ともに前年を上回りました。また、昨年10月に化粧品が消費税の免税対象に加わって以降、訪日外国人旅行者による化粧品の需要は増加傾向が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、今期より新たな中期経営計画「グローバルブランド育成期」をスタートさせ、「世界に通用するブランドの育成」と「経営資産の継続的なパフォーマンス向上」の2つの基本戦略のもと、世界で存在感のある企業への進化を目指し、一段と成長のスピードを加速させてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、前期までの改革の成果が継続し、主要ブランドの国内販売が好調に推移したほか、インバウンド需要の取り込みや前期に買収したタルト社の業績が加わった結果、売上高が全ての事業セグメントで前年を上回り、前年同期比22.8%増の115,407百万円(為替の影響を除くと21.1%増)となり、過去最高となりました。

利益につきましては、積極的な販売費の投入による増収効果及び一般管理費等の効率的な運用により、営業利益は18,045百万円(前年同期比156.1%増)、経常利益は18,691百万円(同130.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,951百万円(同164.5%増)となり、いずれも過去最高となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	66,394	83,626	17,232	26.0
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	66,394	83,626	—	—
営業利益	百万円	6,901	15,671	8,769	127.1
営業利益率	%	10.4	18.7	—	—

化粧品事業につきましては、国内では、高級化粧品を扱う(株)アルビオンが好調に推移したほか、グローバルプロモーションを展開した「コスメデコルテ」、ギフト需要を取り込んだ新しいコンセプトの直営店舗をオープンした「ジルスチュアート」等のハイプレステージブランドが大幅に伸長しました。また、プレステージブランドにおきましても、ブランド誕生30周年の記念プロモーションを展開した「雪肌精」やアイテムを拡充した「肌極」などのスキンケアブランドに加え、メイクアップブランド「エスプリーク」も好調に推移しました。海外では、中国事業の構造改革に取り組んだ一方で、米国タルト社が計画以上の業績で進捗したことや円安効果なども加わり、海外全体の売上高は増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は83,626百万円（前年同期比26.0%増）、営業利益は15,671百万円（同127.1%増）となりました。

(b) コスメタリー事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	26,670	30,694	4,023	15.1
セグメント間の売上高	百万円	—	98	—	—
売上高計	百万円	26,670	30,792	—	—
営業利益	百万円	1,865	3,768	1,903	102.1
営業利益率	%	7.0	12.2	—	—

コスメタリー事業につきましては、シートマスクや日やけ止め等の重点カテゴリーブランドが好調に推移したコーセーコスメポート(株)が業績を牽引したほか、セルフメイクブランドの「ヴィセ」や「エルシア」、コンビニエンスストア向けブランド「雪肌粹」などの売上も好調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は30,694百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は3,768百万円（同102.1%増）となりました。

(c) その他の事業

事業区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	878	1,086	207	23.7
セグメント間の売上高	百万円	393	333	—	—
売上高計	百万円	1,272	1,419	—	—
営業利益	百万円	309	510	200	64.7
営業利益率	%	24.4	36.0	—	—

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は1,086百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は510百万円（同64.7%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、政府による各種政策等の効果もあって、緩やかながらも景気回復の動きが続くことが期待されるものの、中国をはじめとする新興国経済の景気下振れ懸念など、先行きの不透明感が高まりつつあります。

このような環境下、当社グループは中期経営計画の方針に基づき、経営基盤の強化を引き続き推進し、グローバルブランドの育成や販路の拡大に注力するとともに、基幹ブランドのさらなる売上拡大と収益性向上に取り組むことで、一段と成長のスピードを加速させてまいります。

これらの状況を踏まえ、平成27年7月31日に公表しました通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 230,000	百万円 28,000	百万円 28,600	百万円 16,200	円 銭 283.99
今回修正予想(B)	235,000	33,000	33,600	19,200	336.58
増減額(B-A)	5,000	5,000	5,000	3,000	—
増減率(%)	2.2	17.9	17.5	18.5	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	207,821	22,647	25,106	12,057	211.37

平成28年3月期(通期)の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業区分	平成27年3月期		平成28年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品	152,806	73.5	174,000	74.1	21,193	13.9
コスメタリー	53,214	25.6	58,800	25.0	5,585	10.5
その他	1,800	0.9	2,200	0.9	399	22.2
売上高計	207,821	100.0	235,000	100.0	27,178	13.1

区分	平成27年3月期		平成28年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	22,647	10.9	33,000	14.0	10,352	45.7
経常利益	25,106	12.1	33,600	14.3	8,493	33.8
親会社株主に帰属する当期純利益	12,057	5.8	19,200	8.2	7,142	59.2

※主要な為替レートにつきましては、120円/米ドル、3.8円/台湾ドル、19.2円/中国元を想定しています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,214	67,816
受取手形及び売掛金	31,563	30,875
有価証券	11,938	4,278
金銭の信託	9,000	-
商品及び製品	15,529	18,338
仕掛品	1,982	2,031
原材料及び貯蔵品	10,588	12,750
繰延税金資産	4,588	4,370
その他	1,339	2,341
貸倒引当金	△267	△342
流動資産合計	134,476	142,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,607	31,267
減価償却累計額	△18,885	△19,328
建物及び構築物(純額)	11,721	11,939
機械装置及び運搬具	12,964	13,124
減価償却累計額	△11,284	△11,430
機械装置及び運搬具(純額)	1,680	1,694
工具、器具及び備品	32,186	32,969
減価償却累計額	△27,622	△28,261
工具、器具及び備品(純額)	4,564	4,708
土地	17,041	17,058
リース資産	1,369	1,500
減価償却累計額	△779	△871
リース資産(純額)	590	629
建設仮勘定	194	2,413
有形固定資産合計	35,792	38,443
無形固定資産		
ソフトウェア	1,529	1,385
のれん	10,481	10,216
その他	9,689	9,374
無形固定資産合計	21,700	20,977
投資その他の資産		
投資有価証券	6,720	5,237
繰延税金資産	3,476	3,261
その他	2,990	2,605
貸倒引当金	△149	△129
投資その他の資産合計	13,037	10,975
固定資産合計	70,530	70,396
資産合計	205,006	212,856

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,793	7,372
電子記録債務	10,432	12,024
短期借入金	600	1,022
リース債務	175	183
未払金	8,176	6,582
未払費用	9,117	7,975
未払法人税等	4,520	5,102
未払消費税等	2,703	1,410
返品調整引当金	1,910	1,705
その他	777	622
流動負債合計	45,207	44,003
固定負債		
リース債務	472	515
役員退職慰労引当金	1,991	2,053
退職給付に係る負債	4,107	3,094
繰延税金負債	3,229	3,146
その他	359	514
固定負債合計	10,160	9,324
負債合計	55,368	53,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	127,047	135,886
自己株式	△9,082	△9,087
株主資本合計	129,203	138,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,375	935
為替換算調整勘定	4,909	5,538
退職給付に係る調整累計額	4,576	4,399
その他の包括利益累計額合計	10,861	10,873
非支配株主持分	9,572	10,617
純資産合計	149,637	159,529
負債純資産合計	205,006	212,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	93,943	115,407
売上原価	22,437	27,670
売上総利益	71,505	87,736
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	7,123	7,156
販売促進費	18,869	21,300
運賃及び荷造費	3,653	4,152
給料及び手当	19,194	20,261
退職給付費用	652	446
法定福利費	2,964	3,147
減価償却費	1,321	1,425
その他	10,678	11,801
販売費及び一般管理費合計	64,458	69,691
営業利益	7,046	18,045
営業外収益		
受取利息	136	144
受取配当金	37	40
特許実施許諾料	30	23
為替差益	678	-
有価証券償還益	76	521
雑収入	114	68
営業外収益合計	1,074	798
営業外費用		
支払利息	4	6
支払手数料	7	5
為替差損	-	122
雑損失	4	18
営業外費用合計	16	152
経常利益	8,104	18,691
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	-	38
特別利益合計	2	38
特別損失		
固定資産処分損	75	46
投資有価証券評価損	-	1
その他	2	0
特別損失合計	77	47
税金等調整前四半期純利益	8,029	18,682
法人税、住民税及び事業税	1,927	5,996
法人税等調整額	1,453	677
法人税等合計	3,380	6,674
四半期純利益	4,648	12,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	508	1,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,140	10,951

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	4,648	12,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	△439
為替換算調整勘定	△1,183	647
退職給付に係る調整額	△47	△175
その他の包括利益合計	△1,100	31
四半期包括利益	3,548	12,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,065	10,963
非支配株主に係る四半期包括利益	483	1,077

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	66,394	26,670	93,064	878	93,943	—	93,943
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	393	393	△393	—
計	66,394	26,670	93,064	1,272	94,336	△393	93,943
セグメント利益	6,901	1,865	8,767	309	9,076	△2,030	7,046

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△16
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,013

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

化粧品事業において、平成26年4月1日にTarte, Inc. が連結子会社となったことによるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては9,498百万円であります。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日 本	ア ジ ア	欧 米	計
81,208	10,402	2,332	93,943

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	83,626	30,694	114,320	1,086	115,407	—	115,407
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	98	98	333	431	△431	—
計	83,626	30,792	114,419	1,419	115,838	△431	115,407
セグメント利益	15,671	3,768	19,440	510	19,950	△1,905	18,045

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	12
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,918

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	欧米	計
97,005	11,502	6,899	115,407